

Story



タレント・俳優

なすびさん

1975年 福島県生まれ。幼少期は、父の仕事の関係で県内各地で暮らしました。小学5年生から高校卒業までの間を福島市で過ごし、大学進学を機に上京。在学中、テレビ番組への出演がきっかけで全国的に有名になり、タレント・俳優として活動を続けています。2016年5月エベレスト登頂成功。

青春時代を過ごした福島市は
僕の大切なふるさとです。

元気をくれる福島に
笑顔をもっと広げたい

18歳の時に上京するまで長く暮らした福島市は、僕の大切なふるさとです。当時、福島という街は、僕にとって当たり前にそこにあるものだったので、福島の魅力にはほとんど気づいていなかったと思います。でもこうして故郷を離れて暮らすと、福島 of 自然の豊かさや人情の厚さに気づき、「福島っていいな」とあらためて感じるようになりました。

僕は東京を拠点に活動しているのですが、2011年の東日本大震災後、故郷のために何かできることはないかと考え、さまざまな復興支援イベントにボランティアで参加するうちに、福島県内のイベントや番組に呼んでもらう機会がこれまで以上に増えました。現在は東京と福島を頻繁に行き来しており、週の半分以上を福島で過ごすことも少なくあ

りません。福島 of 街を歩いていると、若い世代の方々だけでなく、おばあちゃんが「なすびちゃん！」と声をかけてくれることもあって、街の皆さんに元気をもらっているなど実感します。

市内には思い出の場所があちこちにあるのですが、最近では、信夫山にある烏ヶ崎展望デッキがお気に入り。市街地を見渡せる素晴らしい眺めに、心がすっと癒されます。この景色を見るたびに、「福島に笑顔がますます広がるよう頑張ろう！」と決意を新たにすることができると感じます。



É "ĩsãEtúç Þñõç'ñetwb Ð

家族も仕事も大切に
ライフスタイルを確立

私は長年東京に住み、仕事に取り組んできましたが、介護を要する母と暮らすため、2013年に活動拠点を福島市に移しました。生まれ育った福島市とは言え、10年以上離れていたもので、専門分野であるフェイスブックなどを通じて一から人脈作りを行い、現在はさまざまなジャンルの方とお付き合いをさせていただいています。皆さんの協力を得て2014年にプロデュースした動画「HAPPY福島版」は大き

な反響を呼び、これをきっかけに仕事の幅も広がって、今後面白い展開に発展しそうです。

ソーシャルメディア関連の仕事は、インターネットを活用することで、東京にいた頃とほぼ変わらず続けることができます。月2回ほど東京に行き、クライアントの元を訪れるなどしていますが、新幹線に乗れば最短約1時間で首都圏に着くというアクセスの良さも、このワークスタイルを続けられる大切な要素のひとつです。

福島市は、私にとってふるさとであり、復興に向けて今まさに歩んでいる場所。少しでもその役に立てればと考えながら、今後活動も続けていこうと思います。福島には魅力ある観光資源が宝物のようにまだまだたくさん眠っています。それらを私なりの視点で発掘し、ソーシャルメディアや動画を通して発信し、福島のPRにつなげることが、私の役割だと感じています。